2026 年 10 月 25 日

主日礼拝

礼拝讃美歌⇒4 番（KH 姉）
『アバ父と神を』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 1 章 4~6 節（MM 姉）
『天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。』

（祈り）

礼拝讃美歌⇒16 番
『世の始まる前』

聖書⇒創世記 1 章 31 節（KT 姉）

- 『神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 3 章 20~24 節
『なぜなら、律法を実行することによっては、だれ一人神の前で義とされないからです。律法によっては、罪の自覚しか生じないのです。ところが今や、律法とは関係なく、しかも律法と預言者によって立証されて、神の義が示されました。すなわち、イエス・キリストを信じることにより、信じる者すべてに与えられる神の義です。そこには何の差別もありません。人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 6 章 1~4 節
『では、どういうことになるのか。恵みが増すようにと、罪の中にとどまるべきだろうか。決してそうではない。罪に対して死んだわたしたちが、どうして、なおも罪の中に生きることができるでしょう。それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。』

（祈り）

礼拝讃美歌⇒127 番（KH 兄）
『十字架の許ぞ』

《パン裂き》

聖書⇒:コリント信徒への手紙一 11 章 23~26 節（KH 兄）
『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

（式）

礼拝讃美歌⇒142 番
『渡されたもう』

《建徳》

聖書⇒詩編 139 編 1~6，23~24 節（MI 姉）
『【指揮者によって。ダビデの詩。賛歌。】
主よ、あなたはわたしを究め／
わたしを知っておられる。
座るのも立つのも知り／
遠くからわたしの計らいを悟っておられる。
歩くのも伏すのも見分け／
わたしの道にことごとく通じておられる。
わたしの舌がまだひと言も語らぬさきに／
主よ、あなたはすべてを知っておられる。
前からも後ろからもわたしを囲み／

御手をわたしの上に置いていてくださる。
その驚くべき知識はわたしを超え／
あまりにも高くて到達できない。

神よ、わたしを究め／
わたしの心を知ってください。
わたしを試し、悩みを知ってください。
御覧ください／
わたしの内に迷いの道があるかどうかを。
どうか、わたしを／
とこしえの道に導いてください。』

聖書⇒詩編 139 編 7~10，11~12 節
『どこに行けば／
あなたの霊から離れることができよう。
どこに逃れれば、御顔を避けることができよう。
天に登ろうとも、あなたはそこにいまし／
陰府に身を横たえようとも／
見よ、あなたはそこにいます。
曙の翼を駆って海のかなたに行き着こうとも
あなたはそこにもいまし／
御手をもってわたしを導き／
右の御手をもってわたしをとらえてくださる。

わたしは言う。
「闇の中でも主はわたしを見ておられる。
夜も光がわたしを照らし出す。」
闇もあなたに比べれば闇とは言えない。
夜も昼も共に光を放ち／
闇も、光も、変わるところがない。』

聖書⇒詩編 139 編 13~18 節
『あなたは、わたしの内臓を造り／
母の胎内にわたしを組み立ててくださった。
わたしはあなたに感謝をささげる。
わたしは恐ろしい力によって／
驚くべきものに造り上げられている。
御業がどんなに驚くべきものか／

わたしの魂はよく知っている。
秘められたところでわたしは造られ／
深い地の底で織りなされた。
あなたには、わたしの骨も隠されてはいない。
胎児であったわたしをあなたの目は見ておられた。
わたしの日々はあなたの書にすべて記されている／
まだその一日も造られないうちから。
あなたの御計らいは／
わたしにとっていかに貴いことか。
神よ、いかにそれは数多いことか。
数えようとしても、砂の粒より多く／
その果てを極めたと思っても／
わたしはなお、あなたの中にいる。』

聖書⇒詩編 139 編 19~22 節
『どうか神よ、逆らう者を打ち滅ぼしてください。
わたしを離れよ、流血を謀る者。
たくらみをもって御名を唱え／
あなたの町々をむなしくしてしまう者。
主よ、あなたを憎む者をわたしも憎み／
あなたに立ち向かう者を忌むべきものとし
激しい憎しみをもって彼らを憎み／
彼らをわたしの敵とします。』

聖書⇒詩編 139 編 23~24 節
『神よ、わたしを究め／
わたしの心を知ってください
。わたしを試し、悩みを知ってください。
御覧ください／
わたしの内に迷いの道があるかどうかを。
どうか、わたしを／
とこしえの道に導いてください。』

礼拝讃美歌⇒476 番（KH 兄）
『いかなる恵みぞ』

《建徳要旨》

《注記》

建徳の音声ファイルは、お話しされた岩上真歩子牧師のご意向により
2026 年 11 月末に非公開となります。建徳の要約は 2026 年 11 月 1 日付の
週報に掲載されます。